

マイナンバーカード申請5月10倍以上に

コロナ給付金手続きなどが影響か？

交付開始から4年以上となるマイナンバーカードは、情報漏えいや個人情報情報を国に把握されてしまうという不安から普及は進みませんでした。これらの不安はまったく解消されていないにもかかわらず、コロナ禍での特別定額給付金の申請につかわれたことや今後、国が税金を使って利得をばらまくポイント付与事業で国民の関心を誘ったなどのこともあり、普及が進みました。

今まで月に50件にも満たなかった申請が、5月は500件と10倍を超え、6月は200件を超えました。しかし、それでも全体の普及率は、13.7%です。国は現在、マイナンバーカードを健康保険証として利用できるようにすすめています。将来的には個人の健康状態、個人資産など個人のプライバシーすべてを把握できるシステムに進めようとしています。このようなマイナンバーカード制度は、中止するしかありません。

利根沼田地域の隅々まで平和の声を！

網の目平和行進が行われました



沼田公園に集結し、終了集会を開催した参加者のみなさん

12日、国民平和大行進利根沼田網の目行進が行われました。片品、川場、水上のそれぞれのコースから沼田公園に集結しました。

第2次市政改革大綱について(2)

(次号からのつづき) さて今回は、この大綱の中身の問題点です。(1)は、人口減少と高齢化の進行ですが、旧沼田市と白沢村、利根村が合併した2005年は53,177人でしたが、現在の2020年は(右中段につづく)

障害者・家族の地域での暮らしサポート

障害者生活支援センター「はーもにー」開設へ



社会福祉法人北毛清流会が上原町の母子寮跡地に建設していた「障害者生活支援センターはーもにー」が完成し、7月29、30日に内覧会を行い、8月1日から開設されます。

この事業所は、沼田市としては最初の本格的な障害者支援施設で、生活介護(通所)事業定員20名、短期入所事業定員6名など6つの事業に取り組みます。

(左下からのつづき)46,947人、市では、10年後は、39,981人、20年後は32,782人、40年後は20,104人になると推計しています。2020年の推計値は、47,337人でしたが、実際は、マイナス390人と推計より減少していますので、将来の推計値も実際はもっと少なくなると思われまます。

対策として、「市は若年層・子育て世代の転出抑制、合計特殊出生率の上昇、子育て後世代のUIターンの促進などの人口減少対策に積極的に取り組んでいる」ことを強調しています。しかし、人口減少は急速に続いています。なぜなのか？この原因には少しも触れていません。対策をとっている事項が反面、原因なのですが。

人口減少の原因は、転出が転入より多い、亡くなる人よりも生まれる子どもが少ない。なぜ？ここが肝心なところです。(つづく)

2020年7月19日 No.979

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料